

# 栄養サポート通信

~81号~

## 第19回 NST・褥瘡報告会 実施報告

7月1日、30名の方に現地参加いただきました。

### 第一部

『令和6年 NST介入報告』

栄養管理室

『令和6年 褥瘡報告』

7階西病棟師長代理

### 第二部

『褥瘡患者の栄養管理』

総合診療科長



また、後日バリテス配信でも沢山の方に閲覧いただきました。

### <感想の一部紹介>

- 医師 80名
  - 看護師475名
  - 看護補助者 48名
  - 医療技術者 164名
  - 事務職 117名
  - その他 74
- 計 988名

・ 摂取栄養素が褥瘡にどれだけ影響を与えるのか詳細に知ることが出来た。

・ 褥瘡を起さないために気をつけることや褥瘡が出来てしまったら改善するためにやるべきことを学ぶことができ参考になった。

・ 褥瘡にならないよう体位交換や栄養（食事）は大切だと思った。

・ 褥瘡と栄養の関係について、その密接さを改めて知った。

・ 褥瘡と当院の取り組みについて理解を深められた。



# アンケート結果

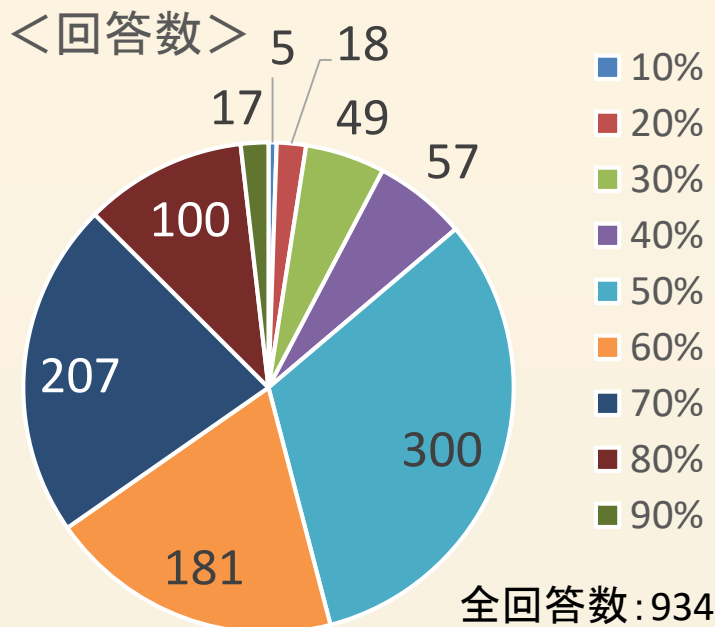
今回、バリテスアンケートから  
当院の意識調査を実施しました。

経口摂取が少なく、静脈栄養を併用している患者さんがいます。経口摂取量が必要エネルギー量のどれくらいになったら静脈栄養を中止しますか？または中止してもいいと思いますか？

回答率の高い順に

- ・ 摂取量50%で中止 (32%)
- ・ 摂取量70%で中止 (22%)
- ・ 摂取量60%で中止 (19%)

となりました。



経口摂取のみで必要量の60%以下しか摂取できない状態が

1週間以上持続することが予想される場合には静脈栄養や経腸栄養などの栄養療法を考慮すべきである。<参考: 静脈経腸栄養ガイドライン第3版>

必要量がどれくらいか、現在の投与量（食事・点滴・経管栄養含め）がどれくらいなのか把握したい場合には、栄養管理計画書にて確認可能です。ぜひ、ご活用ください。